

オンライン授業を受けるための準備について（続報、アンケート結果を受けて）

2020年4月13日

大学院法学政治学研究科長・法学部長 大澤裕

4月6日より8日にかけて研究科・学部で行った「インターネット接続に関するアンケート」へのご協力、ありがとうございました。

以下、アンケートの回答を踏まえ、オンライン授業受講のために必要な準備についてお知らせします。

1. Zoom の脆弱性について

Zoom の脆弱性については、メディアにより報道がなされたこともあり、アンケート回答の中で懸念の声が聞かれました。この点に関して皆さんにお願いしたいことは、ソフトウェアを最新版にアップデートしていただくことです。指摘された問題は、これにより対処可能であるとされています。

詳細は、情報基盤センター「Zoom を用いたオンライン講義を安全に進めるために」

https://apps.adm.s.u-tokyo.ac.jp/WEB_info/p/pub/5756/Zoom.pdf

をご覧ください。

2. Zoom へのサインインに用いるメールアカウントについて

Zoom のセキュリティ上の問題を回避するためには、ミーティングへの参加を制限し、無関係の第三者の侵入を排除する、という運用方法が有効とされています。具体的には、Zoom の認証機能を用いて、東京大学の ECCS クラウドメール(共通 ID (10桁の数字) @g.ecc.u-tokyo.ac.jp)で Zoom にサインインしている者しかミーティングに参加できないようにするという手法での対応が考えられ、実際、本研究科・学部でも、この制限のもとでオンライン授業を行うことが想定されています。

このような場合、大学の ECCS クラウドメールにより Zoom にサインインしないと授業を受講することができません。ついては、20 日からの授業開始に間に合うよう、「新入生・在学生のための、オンライン授業を受けるための準備」のページ

<https://utelecon.github.io/oc>

なども参考にしながら、早急に ECCS クラウドメールアカウントを有効化して下さい。

また大学の Zoom アカウントの作り方のページを参考に、Zoom アカウントも作成して下さい

い。

https://utelecon.github.io/zoom/create_account

https://utelecon.github.io/zoom/zoom_signin

接続の支障に関する技術的な問題については、上記ページの末尾「なにかおかしい, 接続できない場合は」に記載されている窓口にご相談下さい。

以上